

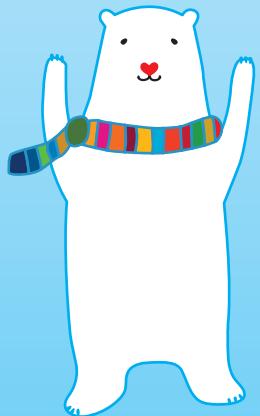


脱炭素

チャレンジカップ2020

報告書

Zero Carbon Challenge Cup 2020



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

脱炭素チャレンジカップは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



前身の低炭素杯から、数えて10回目の開催となる今回に、名称を改め「脱炭素チャレンジカップ」として開催することになりました。

「脱炭素チャレンジカップ」は、次世代に向けた脱炭素社会の構築を目指し、多様な主体が取り組む地球温暖化防止に関する活動を発表することにより、取組のノウハウや情報を互いに共有し、さらなる活動に向けて連携や意欲を創出する「場」となることを目指しています。

「脱炭素チャレンジカップ2020」は、ダイレクトエントリーと地域大会(5地域大会)の計183団体の中から選ばれた28団体がステージ上でプレゼンテーション審査に臨んでいただき、環境大臣賞や文部科学大臣賞などの各賞を決定いたしました。

開催にあたっては本事業に賛同していただいた企業・団体の皆様からのご支援・ご協力をいただき心より感謝いたします。

SDGs達成に向けて貢献



「脱炭素チャレンジカップ」は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。」

世界で気候変動問題が年々深刻化する中、「パリ協定」に基づき、世界の平均気温の上昇を産業革命前の2°C未満に抑え、脱炭素社会を構築することを我々は目指しています。

日本においても脱炭素社会の実現に向けて、社会全体での機運の醸成や効果的な対策への取組を強力に進めていく必要があります。

そのような状況の中、「脱炭素チャレンジカップ」では、様々なパートナーと出会える「場」を提供することによって、地域活動の活性化とネットワークの構築が促進され、あらゆる主体の連携が深まり、脱炭素かつ持続可能な地域づくりへの加速化が図られることを期待しています。

脱炭素チャレンジカップ SDGs 貢献 概要

キーワード Think Globally Act Locally 地域の取組を、世界に発信

世代を超えて!
2030年の達成を目指す!



①地域センターの参加による 全国展開

地域センターのネットワークで地域活動の
掘り起こし
(他アワードとの差別化)

↓
オール日本の取組を紹介・発信

②地域の脱炭素取組モデル 発信

再エネや省エネの取組
最新技術や地域活動を共有!

↓
脱炭素による生活の質の向上と
地域活性化

③企業との連携

企業のニーズと地域のシーズを
マッチング・出会いの場づくり
↓
地域の担い手づくりによる
課題解決

